

中学生のみなさんへ

TOEFL Primary[®]と 学校の授業、家庭学習にどう取り組むか —リーディング編—

大阪教育大学 英語教育部門 准教授
一般社団法人 国際教育英語試験協会 アドバイザー
篠崎 文哉

TOEFL Primary[®] テスト形式

対象	主に小中学生
受験方式	PBT (Paper Based Testing) …マークシートを使用した試験方式 または CBT (Computer Based Testing) …パソコン・タブレットを使用した試験方式
設問数	Step 1 80問 Step 2 76問
試験時間	Step 1 約60分 Step 2 約60分
スコアレンジ	リーディングとリスニングの各セクション Step 1 100~109 Step 2 100~115
スコアレベル	リーディングとリスニングの各セクション Step 1 「★」～「★★★★」 Step 2 「●」～「●●●●●」
CEFR	リーディングとリスニングの各セクション Step 1 CEFR A1未満～A2 Step 2 CEFR A1未満～B1
採点	項目応答理論を用いてコンピュータで採点

© 2017 Kumon Institute of Education Co., Ltd. (<https://www.toefl-junior-primary.jp/guid/primary/>)



目次

1. はじめに	p.2
2. 基本的な学習の心得と学習方法	p.2
2.1. 語彙学習	p.2
2.2. 文法学習	p.3
2.3. 丁寧に読む	p.5
2.4. スキミングとスキヤニング	p.7
3. スコア別学習方法	p.10
3.1. ESL Fastの活用	p.10
3.2. News in Levelsの活用	p.11
4. おわりに	p.13

1. はじめに

みなさんは、学校のテスト以外で英語のテストを受けたことはありますか。テストといっても様々ありますが、そのうちのひとつがTOEFL Primary®です。すでに受けたことがある人も、これから受けるという人

もいるかもしれません。本稿では、リーディングセクションについて扱います。特に、学校の授業や家庭学習とのつながりを中心に、リーディング力を高めるための学習のポイントを紹介していきます。

2. 基本的な学習の心得と学習方法

2.1. 語彙学習

リーディングに限らず、言葉を理解したり使ったりするには、どれだけ単語を知っているかが重要です。単語を知っている、は大きく2つに分けられます。ひとつは、聞いたり読んだりして意味がある程度分かるというもの、もうひとつは、話したり書いたりして使うことができるというものです。小学校や中学校で学ぶ単語の多くは、ゆくゆくは使えるようになってほしいと思いますが、学びたてではなかなかすぐに使えないと思います。また、ひとつの単語でも様々な使い方があり、完全に使いこなすというのは極めて高いレベルとなります。たくさんの単語を学んでいく中で、すべての単語を同時に使えるようにするのは非常に困難です。

語彙学習はある程度長期的な目で繰り返し学習していくことで定着します。中学校の検定教科書には、使用頻度の高い単語が多く含まれており、大半がTOEFL Primary®にも共通しています(今西竜也「TOEFL Primary®と学校の教科書との語彙の相関性—ETS公式模擬テストと東京書籍および三省堂の検定教科書の語彙の比較—」参照)。

教科書を進めていくと、繰り返し、既習の単語に出会えるようになっていくものも多くあります。それは文章の中だったり、活動の中だったりしますが、少し異なる文脈で会うことで、その単語に対する理解が深まります。しかし、それでも**出会う回数は十分ではない**場合があります。そのため、覚えたい単語にできるだけ多く会うためには、意図的な学習も必要です。例えば学校では、4技能(「聞く」「読む」「話す」「書く」)を高める学習活動を行っていると思います。そういった活動では、教科書として既習の単語が入っていることもありますが、生徒が使うように先生が意図的に加えている場合もあります。他には、小テストを行っている学校もあります。テストに向けて各自で学習していることでしょう。

ただ、授業中でも家庭学習でも、特に単語を独立して学習する場合、頭を働かせているか注意しましょう。例えば、「新出単語を10回ずつ書く」といった課題があるとしたら要注意です。課題を早く終わらせたい一心で、10回書くことが目的となっている恐れがあります。機械的に殴り書きする

ような練習は、おそらく学習になっていません。それは「学ぶ意識」が希薄になっているからです。また、単語を覚えるといっても、様々な観点があります。大きく「形態」「意味」「使用」に分けられますが、もしかすると意識せずに10回書くというのは、「形態」に分類されるスペリングにしか注意がいていないかもしれません(それにすら意識が向いていない可能性もあります)。最低でも、意味と発音には注目してください。「覚える」という意識をしっかり働かせ、書く前に手本となる音声を聞き、実際に真似て発音し、発音・意味・スペリングを統合するつもりで書くということをするベターかと思います。いずれにしても、集中して覚えようとしないと、どんな方法も効果が薄れます。最近では、繰り返し学習のしやすさからアプリの利用が盛んです。自分で学習したい単語を入れて繰り返し学習できるアプリのひとつとして、Quizlet(<https://quizlet.com/>)が挙げられます。Quizletでは、単に単語カードがデジタルになっただけではなく、登録した単語リストから自動的に選択問題や入力する問題などを生成してくれます。また、テストモードを利用すると、正答できなかった単語を重点的に学習することもできます。さらに、クラスメートと対戦するゲームが用意されており、楽しみながら学べます。他にも、様々なアプリがありますので、自身にあったものを探してみてください。

2.2.文法学習

文章をより正確に読み取ろうと思えば、文法を理解しておく必要があります。文法項目にもよりますが、基本的には、①授業

などでその文法が使われる場面を知る、②文法の説明を聞く、③ドリルなどで練習する、④コミュニケーション活動の中で使ってみる、⑤復習する、といった具合で学習を進めます。①や②は授業の中で先生から示されたり、説明がなされたりします。その中で、いくつか例文が示されることがあると思いますので、自分なりに文の構造を分析してみてください。なるべく多くの例文に触れて、文法的に誤りのある文を見たときに「違和感」を覚えるようになることが理想です。例えば、

- 1.She is reading a book in her room.
- 2.He is talking on the phone with his friend.
- 3.She is cooking dinner in the kitchen.
- 4.The cat is sleeping on the sofa.
- 5.The dog is barking loudly.
- 6.*He playing with a toy.

1~5のような文に多く触れた上で、6の文を見たときに「こういう文は見たことがない気がする」といった感覚を持てるかどうかということです(本当はもっと多くの例文に触れる必要があります)。いわゆるbe動詞と一般動詞を混在させてしまう(e.g. *I am study English.)のも、自分で気付けるほどの例文のインプットが不足していると考えられます。インプット時は、ただ例文を眺めるだけでなく、覚えようとしながら音読を行っていくことも大切です。

③については、教科書やワークなどに練習問題があると思います。第1段階として、学びたい文法項目単体で文法問題を解いたり、口頭でパターンの練習をしたりします。例えば、過去形であれば、カッコに適切な形の動詞を入れる、和文英訳をする、内容を英語で表現する、などの過去形だけの鍊

習をします。第2段階として、他の文法項目との使い分けをするような練習をします(分かりやすい例で言うと、比較級と最上級の使い分け)。これはなぜかと言うと、先ほどの単語学習と同じで「とりあえず今学んでいる形にすればいいんだ」という感覚に陥り、あまり考えないということになりがちだからです。「今willを習っているから、カッコに入るのはwill」といった具合です。もちろん、しっかりと頭を働かせた上であれば学びになるのですが、現在形と過去形など2つ以上の関連のある文構造のものと見比べたり、使ったりすることで、形式や意味にさらに注意を向けることができ、理解が深まると考えられます。実際に四技能として使ってみる④を通して、定着度を高めます。

さらに重要なのが⑤の復習です。文法に限った話ではありませんが、何か行ったあと、次につなげるための振り返りが必要です。普段の授業や家庭学習はもちろんのこと、定期テストやTOEFL Primary®にもこのことが言えます。要は、やりっぱなしにしないということです。自分の現在の状態を知り、次の目標を設定し、その目標を達成するために何に意識をむけないといけないのかを考えるということです。TOEFL Primary®のスコアレポートが返却され、スコアだけを確認して、「今〇点でした」と知るのも意味はあります。しかし、学校でなぜTOEFL Primary®を行っているかということ、現在の状態を知ってほしいということ以上に、次の学習に活かしてほしいということの方が大きいと思います。そのため、(学校で使える予算に影響を受けますが)年1~2回程度実施し、スコアレポートを参

考に、どのように英語力が高まっているのかを可視化したり、それをもとに面談や振り返りがなされたりしています。テスト受験者であるみなさんには、点数が伸びたかどうかは言うまでもなく大切な視点ですが、「なぜ伸びたのか」「どうやって伸ばしたのか」を分析してほしいと思っています。TOEFL Primary®のリスニングとリーディングのみであれば特にですが、選択問題となっていますので、問いによっては「なんとなくこれが正解だと思った」ぐらいの感覚で解答したものもあるかもしれません。次の学習に生かすという意味では、その感覚が薄れない間に「なぜなんとなくでしか判断できなかったのか」を考えてほしいと思います。単語が分からなかったから、文の構造が理解できなかったから、などだとすると、その点に向けた学習が次に必要となってきます。定期テストやTOEFL Primary®では、先生やスコアレポートから次の学習の大きな方向性としては示されませんが、受験時に個々人がどのような思考で解答したかは把握が困難ですから、あくまで自己分析しないと本当の意味で次への学習につなげることはできません。丁寧な振り返り・分析のもと、復習を行ってください。自分に適した復習方法が分からない場合は、先生に相談するとよいと思います。

2.3.丁寧に読む

最近の共通テスト(大学進学を目指す多くの受験生が受けます)やTOEICのリーディング問題は、かなりの分量があり、素早く読み、問題を解いていく必要があります。確かに「速く読んで情報を的確に処理していく」のような能力は現代社会で求められ、高めたい能力のひとつかもしれません。また、いかなる英語テストにおいても、リーディング問題が出題されていれば、そこには設問があり、その答えを探すために読む、ということを行います。しかし、みなさんには**まずは落ち着いて丁寧に読むということをしてほしい**と思います。そもそも実生活においても「読む」というのは、そ

ういった情報を精査していくようなものばかりではありません。例えば、小説のような物語文を速読する人はあまりいません。一語一語吟味しながら、そして楽しみながら読みます。問題を解くための読み方もテストを受ける以上、現実的には必要ですが、ある程度長い目で見ると丁寧に読む力を高めていけば、問題も解けるようになってきます(情報を読み取ることが中心となるテキストもありますので、後ほど扱います)。

以下は、GC&Tのウェブサイト(<https://gc-t.jp/>)に掲載されているTOEFL Primary® Step 2のサンプルテストの一部です。

Reading	Part 2 Fill in the correct circles on your answer sheet. Read the letter. Then answer questions 12 and 13.
<p>Dear Grandma,</p> <p>Thank you so much for taking my friend Michiko and me to the amusement park on Saturday. We had a really good time! Michiko's favorite part was going on the water rides. But I liked going on the roller coaster with you. Usually I'm afraid of going up high, but with you sitting next to me, I didn't mind at all. Can we go again soon?</p> <p>Love,</p> <p>Michaela</p>	
Question	
<p>12. Why is Michaela writing a letter to her grandmother?</p> <p>(A) To tell her about her school day</p> <p>(B) To thank her for taking her to a park</p> <p>(C) To ask her what she did on Saturday</p> <p style="text-align: right;"><input checked="" type="checkbox"/> Check Answer</p>	
<p>13. What is true about Michaela?</p> <p>(A) She is usually afraid of heights.</p> <p>(B) She likes water rides best.</p> <p>(C) She has an older sister.</p> <p style="text-align: right;"><input checked="" type="checkbox"/> Check Answer</p>	

これは手紙です。設問に目を通し、そのことを念頭に置き、読み進めるというのが一般的だと思いますし、問題を実際に解くときにはそれでよいと思います。しかし、日常の学習においては、**手紙の「問題」**で

はなく、「手紙」として読むということを大切に**してほしい**と思っています。一般的なリーディング問題では、手紙やメールが扱われるとき、差出人と受取人、そしてその内容は自分とは無関係のものです。

ですので、テキストを読むときには、**差出人(書き手)の立場、受取人(読み手)の立場に立ってみてください**。差出人の立場に立てば、「この手紙を読んでくれたとき、どのような気持ちになるだろうか」「これは自分の気持ちを伝えるのに適切な表現となっているのだろうか」「具体的な内容が伝わるようになっていくだろうか」など考えることとなります。同様に、受取人の立場に立てば、「この手紙を受け取ったら、自分ならこのように感じるだろう」「差出人の意図や気持ちは、特にこの文から伝わってくる」「この文によって具体的な出来事の思い出を共有できる」といった点を考えることとなります。**リーディングといっても、それは書き手と読み手のコミュニケーション**です。手紙やメールとなれば、そこには気持ちが介在することが多々あります。機械的な練習で身につく読解力もありますが、やはりまずは相手(書き手)の立場も考慮しながら、丁寧に一言一句読み、リアルなテキストとして扱ってほしいと思います。

手紙を手紙として読むということ自体が、読解力向上に関わり、TOEFL Primary®などのテスト結果にも影響を与えます。「書き手や読み手の立場に立って」というと精神のお話に聞こえますが、実物だと思って触れることで実感につながり、理解が深まると考えられます。手紙を例に見てきましたが、様々なテキストタイプがあり、そういったものを多く読む中で各テキストタイプの特徴を見出すことができます。以下はテキストタイプの例です。

【ナラティブ】

特徴：ストーリー形式で書かれ、登場人物

や出来事、時間の流れが含まれる。

例：小説、童話、個人的なエッセイ、伝記

【説明文】

特徴：情報提供を目的とし、特定のテーマや概念について説明する。

例：教科書、ニュース記事、学術論文、報告書

【説得文】

特徴：読者の意見や行動を変えることを目的とする。

例：広告、エッセイ、意見記事、論説

【指示文】

特徴：手順や方法を示し、特定の目的を達成するための説明を提供する。

例：レシピ、マニュアル、使用説明書

【技術文書】

特徴：専門的な情報や技術的な説明が含まれる。

例：操作ガイド、エンジニアリングドキュメント、製品仕様書

【記録文】

特徴：人物、場所、物事を詳細に描写する。

例：観光パンフレット、詩、自然描写を含む文章

【対話文】

特徴：人物同士の会話形式で、カジュアルまたは形式的である。

例：劇の脚本、インタビュー、会話型エッセイ

【論説文】

特徴：賛否の議論や証拠を提示し、特定の立場を支持する。

例：論文、ディベート資料、法律関連文書

それぞれ書かれ方や目的が異なっているため、読み方を変える必要があります。つまり、何に対してもほしい情報だけ引っ張ってくるような読み方をするのは、実生活にもそぐわないということです。今回の例では、Grandmaに宛てた手紙ということですが、実際の手紙で自分がGrandmaだとすると、まず端から端まで読みますよね。TOEFL Primary®では、そういった実際の世界を想定した問題が出題されます。実生活における自分自身の経験が大切なのです。

ただ、丁寧に読むとは言ってもある程度の速度で読まないで、文章の後半を読むころには前半部分は忘れてしまっています。徐々に、単語単位での読解から、チャンク単位での読解に慣れていく必要があります。例えば、She always wakes up early in the morning and drinks hot tea.という文で言うと、She / always / wakes / up / early / in / the / morning / and / drinks / hot / tea.のように一語一語読むのではなく、She always wakes up / early in the morning / and drinks hot tea.のように、ある程度の塊で読むようにしていくということです。これをするには、語彙や文法の難易度を数段階落とした文から始めた方がよいです(中学2年生なら中学1年生レベルのテキストを用いるなど)。長期的に行っていくリーディングとしては、多読用図書を用いた多読がありますが、教科書を用いた練習もできます。そのうちのひとつが音読です。音

読については、別冊の「TOEFL Primary®と学校の授業、家庭学習にどう取り組むかーリスニング編一」をご覧ください。

また、複雑な文は、文構造を解析しながら読むことが多いと思いますが、前述のように数段階難易度を落とした文章であれば、比較的短時間で意味をつかむことができます。意味をつかむときに、丁寧な和訳をするのではなく、写真や映像のようにイメージ化していく練習も有効かと思えます。①She always wakes up / ②early in the morning / ③and drinks hot tea.では、①のチャンクが目に入ったときに、女性が起き上がっている場面を想像し、②のチャンクが目に入ったときに、薄暗い部屋を想像し、③が目に入ったときに、部屋を移動して熱いお茶を飲んでいる姿を想像する、といった具合です。文によってはイメージ化しづらいものもありますが、映像のように捉えていくことで、長文を読むときに内容を頭の中で保持しやすくなると思います。

2.4.スキミングとスキニング

基本的には、文章は最初から最後まで読むということを継続的に行ってほしいと思います。しかし、実生活においても場面によっては、概要をつかみたい、欲しい情報だけ探したいといったことはあります。

概要をつかむために文章全体をざっと読むことをスキミング(skimming)と言います。特に複数の段落で構成されるような長文において、各段落のメッセージを的確に探し、文章の全体像を把握するような読み方となります。方法としては、例えば、見出しを確認する、各段落の序盤と終盤の文を読む、重要だと思われる語を拾い上げて

いく、などが考えられます。ただ、TOEFL Primary®では、そこまでの長文は出題されません。大意把握の問いはあるのですが、文章を最初から最後まで焦らず読み進めていけば正解できます(他の問いで詳細を尋ねられるため、どちらにしてもしっかり読

む必要があります)。

一方、スキミング(scanning)は、特定の情報を見つけるために文章を素早く読むことを指します。さきほどと同じTOEFL Primary® Step 2 のサンプルテストの一部を用いて説明します。

Reading **Part 2**
Fill in the correct circles on your answer sheet.
Read how to make a card. Then answer questions 9 to 11.





You can make a beautiful card for your friend. When is a good time to make a card? A good time is when your friend wins a sports game or does well in school and wins an award. Show your friend that you are proud of him or her.

You need:

- Two large sheets of colored paper
- Scissors
- Markers or colored pencils
- Glue
- Ribbons or stickers

Directions:

1. Take one sheet of colored paper. Cut a square from this sheet.
2. Write a note to your friend on the square. Write about why you are proud of your friend.
3. Take the second sheet of colored paper. Fold it in half so that you can open the card like a book.
4. Now unfold the sheet of paper and glue the square inside the card.
5. Fold the sheet of paper again.
6. Write "Good job" on the outside of the folded sheet of paper. Use markers and colored pencils.
7. Put ribbons or stickers next to the words "Good job" on the front of the card.
8. Give the card to your friend.

Question

9. You do **not** need ____.

(A) scissors
(B) tape
(C) paper

Check Answer

10. What do you do after you glue the square?

(A) Cut a square from a sheet of paper
(B) Write a note on the square
(C) Write on the front of the card

Check Answer

11. Where do you put the ribbons or stickers?

(A) On the square with the note to your friend
(B) Inside the card
(C) On the outside of the folded sheet of paper

Check Answer

これは学校や家庭などで行える友達のためにカードを作るといった活動の説明書きかと思います。今自分がカードを作ろうと思ったとき、「どのような材料や道具が必要だろうか」「どういう手順で作ればよいだろうか」といったことが思い浮かびます。実生活に基づいた真正性の高い問題となっています。

問いを見てみましょう。問9は必要でないものを選ぶ問題です。カードを作るとき、何となく必要なものは想像できるかもしれませんが、その中でも何を用意しなくてもよいのかを知りたいとします。そうすると、今求めている情報は「不要な材料・道具」ということになります。文章全体を見て、関係しそうなところに注目します。今回の場合は、太字でYou needと書かれているところが怪しいですね。問題の選択肢には、scissors、tape、paperがあるのですが、それぞれがリストの中に入っているならば、それは答えではないということが分かります。見てみると、tapeまたはそれに相当するような単語は見当たりません。今回のカード作りではtapeは不要だということが分かりました。

同様に問10も見てみましょう。質問文に、glueやsquareといったキーワードとなる単語が入っています。この2つが入っている文を探すと、Direction 4で確認できます。選択肢には、Cut a square from a sheet of paper、Write a note on the square、Write on the front of the cardとあり、Direction 4以降に出てくるのはWrite on the front of the cardということが分かります。cutやwrite a noteは最初の方に出てきていますが、キーワードレベルで探すことができます。

問11も同じく、ribbonsやstickersという単語を探すと、Direction 7にあります。選択肢は、On the square with the note to your friend、Inside the card、On the outside of the folded sheet of paperです。場所を表す単語に注目すると、outsideとfrontがヒントです。ribbonsやstickersを貼る場所は、カードの外側(折りたたまれた状態の紙の表側)だということが分かります。

このように、文章の上から順番に読んでいくというより、ピンポイントで欲しい情報を探します。その際、キーワードをもとに探します。情報を探するためのキーワードは、少しずつ自分で考えるということをしていかなくてもなりません。例えば、whereのように場所を見つけたい場合は、関連しそうな名詞や前置詞などに注目します。whenやwhoなども同様です。また、言い換えがなされている場合もありますので、注意が必要です。スキミングは、目的に応じてテキストタイプによらず行うことはありますが、特にニュース記事やマニュアル、広告、データ表、予定表などはスキミングをすることが多いと思います。小説などの物語であっても、ある程度のところまで読み進めたときに、内容について気になったことを探すのにそれまでのページをパラパラとめくることがあると思います。様々なテキストを用いて練習してみてください。

3. スコア別学習方法

3.1.ESL Fastの活用

ここからは、大きく3段階のレベル(TOEFL Primary[®]のリーディングスコアが100~106点【レベル1】、107~115点【レベル2】、それ以上【レベル3】)に分けて、無料で利用できるウェブアプリやウェブサイトを用いた練習方法の具体例を紹介し(レベル3は、TOEFL Primary[®]ですすでに満点を達成し、TOEFL Junior[®]やTOEFL iBT[®]へのステップアップに備えたい人向けです。)

ひとつは、ESL Fast※1です。英語を第二言語として学ぶ初心者から中級者向けの無料リーディングサイトです。シンプルな英語で書かれたストーリーや会話が豊富に掲載されており、リーディング力、リスニング力、語彙力を総合的に強化するのに役立ちます。

※1 <https://www.eslfast.com/>

【レベル1】(100~106点)

ウェブサイト下部にある“Start Reading for Children (I)”から“Start Reading for Children (III)”に入っている教材を用いてください。それぞれに14種類のストーリーが用意されています。

ここでは、“Start Reading for Children (I)”の中にある“Going to the Zoo”を見てみます。音声を聞くことができるのも魅力的ですが、最もよい機能は“Start Reading”の横にあるWPM(words per minute/1分間に読める単語数)を設定できる点です。文頭から順に読むべき箇所を黄色でハイライトしてくれます。

下部にある“CLOZE”を押すと、本文がいくつか空欄になっている文章が現れます。つまり、これを行う前に、内容理解をしっかりとした上で、音読をするなどして内容がある程度覚えておく必要があります。

“SENTENCES”では、バラバラになっている単語を並べかえて、元の一文に戻すというエクササイズです。文法の知識があれば正解はできますが、こちらも読解を行った上で、文法の観点から文を確認するといった形で利用するとよいと思います。

“DICTATION”は、聞き取った一文をそのままタイプして解答する練習です。リーディングとは異なる技能ですが、必要に応じて利用してください。

なお、“VOCABULARY”では、本文に出てきた主要な単語が一覧となっており、クリックすると英英辞典に飛ぶようになっています。説明もすべて英語で難しいため、この機能を用いるより、英和辞典を使うことをおすすめします。

0:00 / 0:37 Repeat

Stop WPM: 90

She goes to the zoo. She sees a lion. The lion roars. She sees an elephant. The elephant has a long trunk. She sees a turtle. The turtle is slow. She sees a rabbit. The rabbit has soft fur. She sees a gorilla. The gorilla is eating a banana.

Zoo tour

VOCABULARY CLOZE SENTENCES DICTATION

【レベル2】 (107～115点)


“Super Easy Reading” と “Easy Reading” を用いましょう。それぞれ16種類のストーリーが含まれています。内容としてはシンプルで、読みやすいため物足りなく感じるかもしれませんが、レベル1で説明したように、自分のレベルにあったWPMを設定し、文頭から順に内容を理解していく練習を試みてください。

3.2. News in Levelsの活用

もうひとつは、News in Levels※2です。英語学習者向けにニュース記事を3つのレベル(Level 1～3)に調整して提供している無料サイトです。最新ニュースや一般的なトピックを簡単な英語から始め、徐々に難易度を上げる構成が特徴です。ただし、Level 1でも語彙や文法のレベルが高いものもあるため、選定が必要です。

※2 <https://www.newsinlevels.com/>

Young people and cancer – level 1



17-12-2024
07:00

Level 1 **Level 2** **Level 3**


Bowel cancer is more usual in older people. But it is growing in younger adults under 50.

In England, **cases** are going up by 3.6% every year. Experts think that this happens because of bad food, being **overweight**, and not moving enough. They are still studying why this is happening. Better testing and genetics can be part of the problem, too.

If you feel unwell, it is good to see a doctor early. You may feel different when you go to the toilet. You may get slim without trying. You may be very tired. If doctors catch cancer early, they can help you stop it.

Difficult words: **bowel** (the long tube through which food travels from the stomach out of the body), **case** (when something happens), **overweight** (fat).

You can watch the original video in the Level 3 section.



News in Levels
Young People And Cancer – Level 1

SOUNDCLOUD
Share

0:56

807

Privacy policy

【レベル2】(107～115点)

基本的にはLevel 1を選択しましょう。リーディングスコアが100～106点の方は、その中でも読みやすそうなものを選んでください。ジャンルとしては、“Funny”，“History”，“Nature”，“News”，“Sport”などがあります。

それぞれの記事に対して、問題が用意されているわけではありません。そのため、本教材のみを使って学習するには、以下の方法が考えられます。

①単語の意味を推測する練習

上の記事を例にすると、“bowel”，“cases”，“overweight”がDifficult wordsとして登場しています。写真がヒントとなっているものもありますが、なるべく記事全体を読み、およそどういう意味で使われているかを文脈から判断する練習ができます。その際、本文の下部に英語で説明が入っていますので、最初は見ないようにしましょう。

②和訳

すべての文を和訳するのは時間がかかりますので、他の学習や練習に充てた方がよいかもしれません。しかし、特に構文などが複雑な文については、分析的に読み、丁寧に訳してみることも有効です。何となく意味はつかんだものの、実は語彙や文法の観点からはしっかりと理解できていなかったということも発見できるかもしれません。

③日本語による要約

要約するには、本文に含まれる重要な語や文を見抜かなければなりません。そのた

め、深い読みが求められます。Level 1の文章では、基本的に各段落を1文で要約するとよいでしょう。

【レベル3】(それ以上)

記事はLevel 1のものを中心に、物足りなくなってきたらLevel 2に移りましょう(Level 3は、TOEFL Junior®を視野に入れている人は挑戦してみましょう)。学習方法としては以下が考えられます。

①質問を作って答える練習

記事を読んだ後、“What happened?”や“Why is this important?”などの質問を自分で考え、簡単な英語で答える練習をしてみましょう。問題を作るには、本文内容を理解していないといけませんので、これも深い読みにつながります。日本語での問いから始めても構いません。上の記事で言うと、「イングランドでは、50歳未満の大腸がんの症例が毎年何%増加していますか。」などです。

②言い換えの練習

これもすべての文を言い換えするのは時間がかかりすぎます。慣れるまでは、簡単な文を選ぶとよいでしょう。“Bowel cancer is more usual in older people.”であれば、“Older people often get bowel cancer.”のように言い換えます。文の流れから言い換えると不自然になってしまう場合もありますが、まずは意味をしっかりと把握し、自分なりに言い換えてみるということで問題ありません。

③英語での要約

英語で要約する場合も、各段落1文ほどでまとめましょう。最初は、ほぼ本文そのままの構文を用いてもよいです。しかし、上

記の②の練習に慣れてくると、要約としてより適切な英語で表現できるようになります。

4. おわりに

本稿で紹介したのは、学校での授業や家庭学習、そしてTOEFL Primary®に共通した学習方法のほんの少しの例です。より高いレベルを目指すには、授業で学んだことを家庭学習で復習することで強化しながら、本稿の後半で紹介したような方法でさらに練習する必要があります。

それら努力の成果は、定期テストやTOEFL Primary®で確認してください。そして、定期テストとTOEFL Primary®では測っている部分が異なりますので、結果を自分なりに分析し、次の学習に活かしてください。やはり、「継続は力なり」です。

著者紹介

篠崎 文哉 (Fumiya Shinozaki)

大阪教育大学 多文化教育系教員養成課程英語教育部門・准教授

ハワイ大学マノア校(Second Language Studies, 学士)、大阪教育大学教育学研究科英語教育専攻(教育学, 修士)。大阪教育大学附属天王寺中学校教諭を経て、現職。現在、関西学院大学大学院教育学研究科博士課程後期課程在籍。専門領域は、英語教育学。近著に、「端末数の差と共同編集機能の有無が英語グループプレゼンテーション準備への参加態度に及ぼす影響」(コンピュータ&エデュケーション)や「Social presence and other individual differences in asynchronous English communication」(International Journal of Applied Linguistics)などがある。中学校英語教科書『NEW CROWN English Series』(三省堂)編集協力委員。これまでの研究業績やその他の活動については、<https://researchmap.jp/shinozaki.f>を参照。

関連著作レポート

- 『TOEFL Primary®のスコアレポート活用法の検討ーテストについて知ることを通してー』
- 『TOEFL Primary®と学校の授業、家庭学習にどう取り組むかーリスニング編』
- 『TOEFL Primary®と学校の授業、家庭学習にどう取り組むかースピーキング編』
- 『TOEFL Primary®と学校の授業、家庭学習にどう取り組むかーライティング編』

